

● 進入路（案）について

・安全を確保した施設への進入路

新しい施設への進入路については、通勤通学への影響を配慮し、また一般通行車両への影響が抑えられるように検討を進めています。

今回、ご議論いただく材料として、環境影響評価調査に伴い実施しました交通量調査結果の概要を資料3-2でご説明します。

・前回までにいただいているご意見から

「問題は忠生 781 号線。左折でも右折でも、待機車線を作る予定はないのか。」

「既存の工場跡地の使用状況によって進入路が変わるのではないか。」

「この道は、他の人はそれほど歩かない。小学生の安全を第一に考えてほしい。」

ご意見を基に、交差点改良案（専用レーンを整備。3 頁の案②と案③）を追加しました。

また、既存入口を利用する西側既存入口利用案（案③）を追加しました。

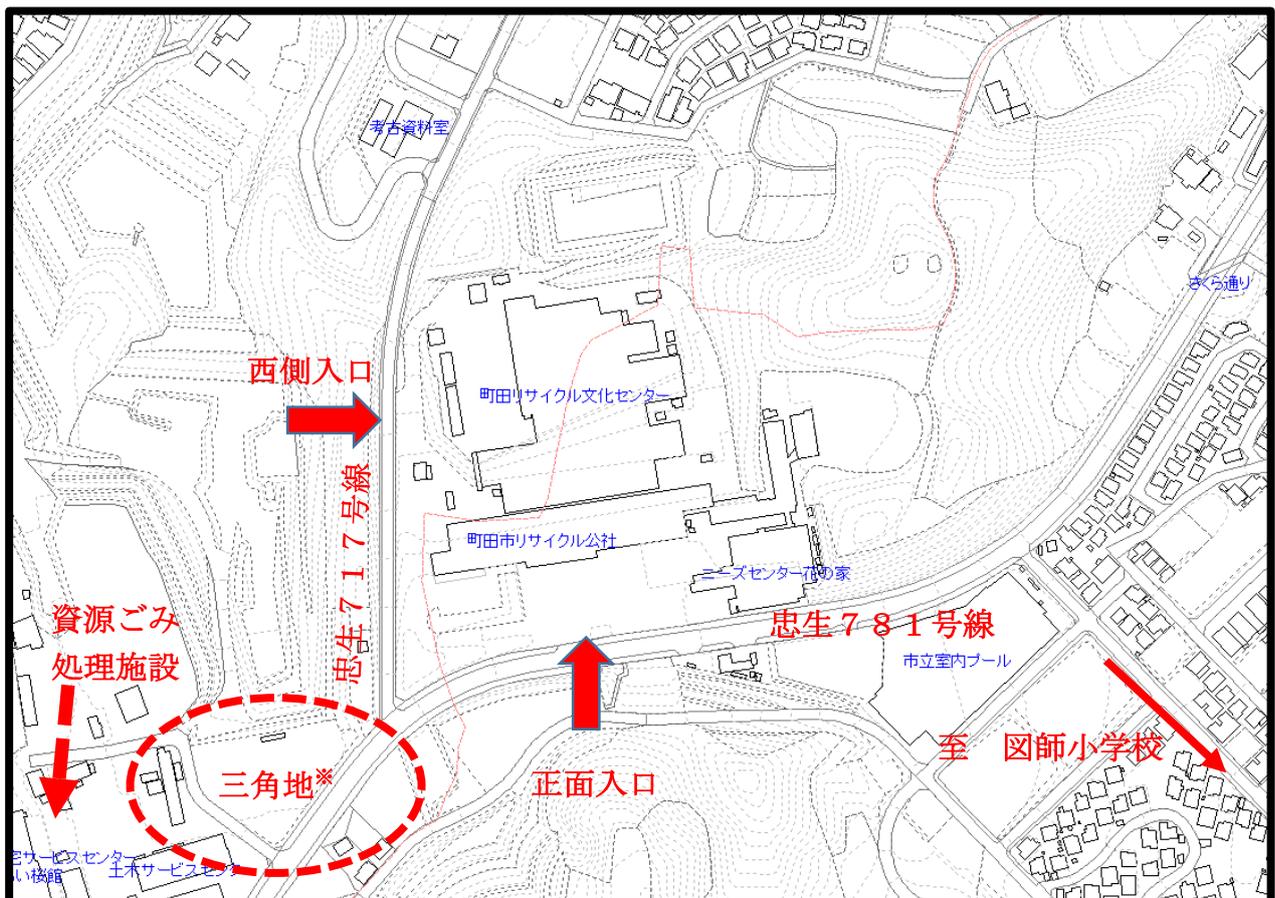
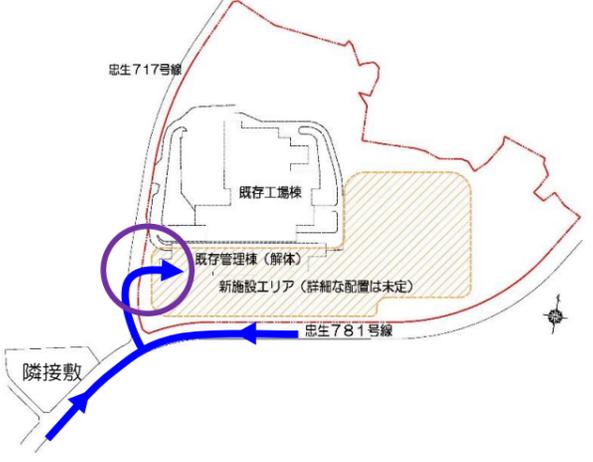


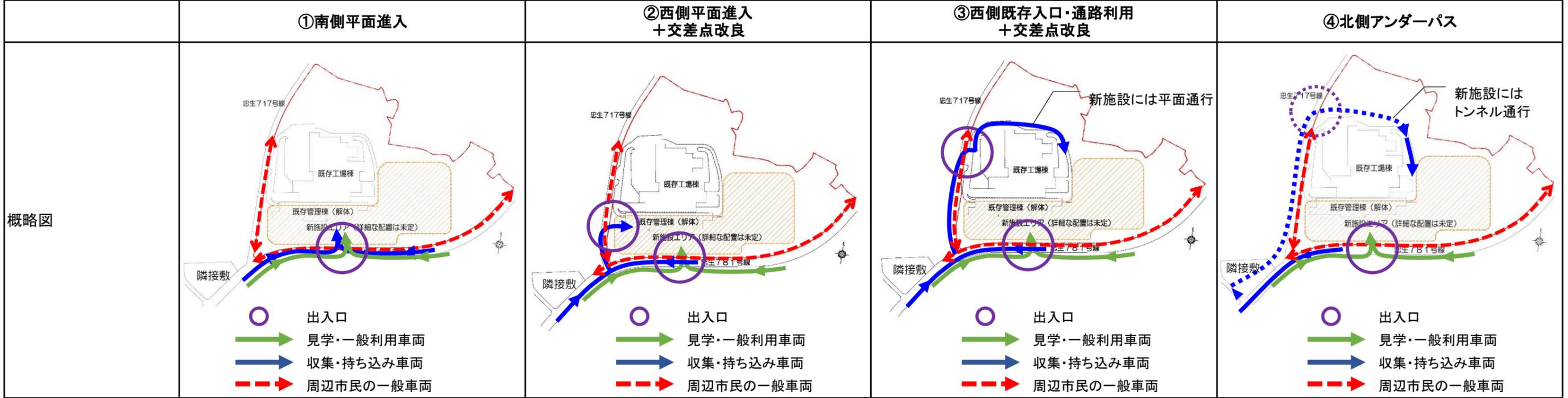
図1 町田リサイクル文化センター周辺図

※「三角地」と呼ばれる敷地は、現在は工事車両の駐車場や、混雑時の一時的な待機場所として利用しています。

進入路の比較一覧

進入路	①南側平面進入	②西側平面進入 + 交差点改良	③西側既存入口・通路利用 + 交差点改良	④北側アンダーパス 【環境アセスで、仮に申請中】
<p>第2回地区連絡会(11月21日開催)の資料2-4の案を基本形としていますが、いただいたご意見を受けて、反映・一部変更しています。</p> <p>【判例】</p> <p>○ 出入口</p> <p>→ 収集・持ち込み車両</p>				
特徴	解体工事時に、既存出入口を活用できる。	解体工事時に、既存出入口を活用できる。また、正面側歩行者の通行を妨げない。	正面側歩行者の通行を妨げない。	解体工事時に、既存出入口を活用できる。また、歩行者の通行を妨げない。
配慮が必要な事項	正面側を通行する歩行者の妨げとしないこと。	交差点改良方法の詳細な検討が必要。	解体工事時に、通行が難しくなる可能性がある。	最終処分場側からの進入となるため、施工方法に詳細な検討が必要。
工事費 (変動が大きいため、仮の概算)	—(基準値)—	+4億円	+12億円	+42億円
工事費がプラスとなる理由		・交差点改良に伴う追加費用	・構内通路の再整備による追加費用	・トンネル整備による追加費用

【町田リサイクル文化センターへの各進入路】



条件比較				
収集・持ち込み車両及び 見学・一般利用車両の動線	△ ・収集・持ち込み車両は南側既存出入口を利用 ・見学・一般利用車両は南側既存出入口を利用 →出入口において動線が錯綜する	○ ・収集・持ち込み車両は西側新規出入口を利用 ・見学・一般利用車両は南側既存出入口を利用	○ ・収集・持ち込み車両は西側既存出入口を利用 ・見学・一般利用車両は南側既存出入口を利用	○ ・収集・持ち込み車両は北側アンダーパスを利用 ・見学・一般利用車両は南側既存出入口を利用
構内での動線	△ ・出入口が1箇所のため、多くの車両の出入りがあり、構内で車両が錯綜する可能性あり。	◎ ・出入口が2箇所のため、構内での車両の動線がスムーズである。	○ ・出入口が2箇所のため、構内での車両の動線がスムーズである。ただし、既存工場側からのアプローチのため、構内の一部で大きく転回する場所が発生する可能性あり。	○ ・出入口が2箇所のため、構内での車両の動線がスムーズである。ただし、既存工場側からのアプローチのため、構内の一部で大きく転回する場所が発生する可能性あり。
周辺歩行者の安全性	△ ・出入口が1箇所のため、出入りする車両台数も多いことから、警備員を配置するなど、歩行者の安全に配慮が必要である。	○ ・出入口が2箇所のため、1箇所での車両台数は少なくなるが、ピーク時は警備員を配置するなど、歩行者の安全に配慮が必要である。	○ ・出入口が2箇所のため、1箇所での車両台数は少なくなるが、ピーク時は警備員を配置するなど、歩行者の安全に配慮が必要である。	◎ ・出入口が2箇所であるが、1箇所はアンダーパスのため、実質の出入口は1箇所であり、出入りする車両台数も少なく、歩行者の安全性に配慮している。
既存工場棟の解体時の動線	◎ ・既存出入口は解体工事車両出入口として利用するため、動線の分離が可能である。	◎ ・既存出入口は解体工事車両出入口として利用するため、動線の分離が可能である。	△ ・既存出入口は解体工事車両と収集・持ち込み車両の出入口を共有するため、動線が錯綜して危険である。 ・跡地利用や解体作業等により通行が難しくなる可能性がある。	◎ ・既存出入口は解体工事車両出入口として利用するため、動線の分離が可能である。
施工時の留意事項			△ ・西側道路の既存出入口付近は、都市ガス配管の引き込みがあり（現在、不使用）、移設が必要となる可能性がある。	△ ・最終処分場側からのアプローチとなるため、掘削工事が大規模となり、道路下部の工事も発生することから、施工方法等についての検討が重要。
コスト比較				
コスト比較	◎ -	○ +4億円	△ +12億円	× +42億円